

# 2021年度 第3四半期決算 説明資料

2022年1月28日

**四国電力株式会社**

# 目次

## 連結決算のポイント 1

### I. 2021年度 第3四半期 連結決算の概要

- 収支概要 2
- 販売電力量 3
- 発電電力量 4
- 収支明細 5
- セグメント情報 8
- 財政状態 9

### II. 2021年度 連結業績予想および配当予想 10

## 2021年度 第3四半期決算 補足データ

- 電化住宅契約口数の推移（累計） 13
- 化石燃料の消費実績 14
- 出水率、主要諸元の需給関連費への影響額 15
- 燃料費調整制度による期ずれ影響 16
- 設備投資額（連結） 18

# 連結決算のポイント

## 【2021年度 第3四半期決算】

〔売上高〕 卸販売収入やその他事業収入は増加したものの、収益認識に関する会計基準の適用に伴う売上減などから、前年同期に比べ767億円減収の4,330億円。

なお、当該会計基準の適用影響を除けば、前年同期に比べ511億円の増収。

〔営業費用〕 燃料価格の高騰や総販売電力量の増加等に伴う費用増があったものの、収益認識に関する会計基準の適用に伴う減少などから、前年同期に比べ442億円減少の4,476億円。

なお、当該会計基準の適用影響を除けば、前年同期に比べ840億円の増加。

〔損益〕 燃料価格の高騰影響などにより需給関連収支が悪化したことから、前年同期に比べ、営業損益は323億円悪化の145億円の損失、経常損益は292億円悪化の142億円の損失、また、親会社株主に帰属する四半期純損益は、212億円悪化の114億円の損失。なお、燃料価格の高騰影響については、3～5か月遅れで燃料費調整額(収入)に反映されるため、当期の業績が大幅に悪化しています。

## 【2021年度 連結業績予想】 2021年10月公表値から今回修正

〔売上高〕 総販売電力量の増などにより、前回公表値に比べ300億円増加の6,100億円と想定。

〔損益〕 燃料価格の高騰や伊方3号機の運転再開時期遅延に伴い需給関連収支が悪化することから前回公表値に比べ、営業損益は130億円悪化の65億円の損失、経常損益は130億円悪化の70億円の損失、親会社株主に帰属する当期純損益は105億円悪化の60億円の損失と想定。

## 【配当】 2021年10月公表値から変更なし

○ 期末配当については、前期実績と同額の1株当たり15円を実施予定。

(1株当たりの年間配当額30円)

# I. 2021年度 第3四半期 連結決算の概要

## 収支概要 (収支の明細は5～6ページ参照)

(億円)

	2021年度 第3四半期	2020年度 第3四半期	前年差	伸び率
売上高	4,330	5,097	▲ 767	▲ 15.1%
営業費用	4,476	4,918	▲ 442	▲ 9.0%
営業損益	▲ 145	178	▲ 323	-
営業外損益	3	▲ 28	31	-
経常損益	▲ 142	150	▲ 292	-
特別損失	16	-	16	-
法人税ほか	▲ 44	52	▲ 96	-
親会社株主に帰属する 四半期純損益	▲ 114	98	▲ 212	-

(百万kWh)

	2021年度 第3四半期	2020年度 第3四半期	前年差	伸び率	主な差異理由
小売販売	16,175	15,960	215	1.3%	・前年度の夏季が高気温であったことによる空調需要の反動減 ・産業用の稼働増に伴う電力需要の増など
電 灯	5,372	5,605	▲ 233	▲ 4.1%	
電 力	10,802	10,356	446	4.3%	
卸販売	6,311	4,141	2,170	52.4%	・卸電力取引所での販売増など
総販売電力量	22,486	20,101	2,385	11.9%	

※ 決算日において未確定であるインバランス電力量等は含めていない。

## 四国4県都の平均気温

(℃)

	6月	7月	8月	9月	6-9月平均
実 績	23.3	27.2	27.5	25.1	25.8
平 年 差	0.5	0.4	▲ 0.3	0.6	0.3
前 年 差	▲ 0.9	1.5	▲ 2.4	▲ 0.1	▲ 0.5

	10月	11月	12月	10-12月平均
実 績	20.3	13.7	8.8	14.3
平 年 差	1.5	0.3	0.5	0.8
前 年 差	1.4	▲ 1.1	0.5	0.3

# 発電電力量

(百万kWh)

		2021年度 第3四半期	2020年度 第3四半期	前年差	伸び率	備考
自 社	水 力	1,663	1,946	▲ 283	▲ 14.5%	・出水率 102.6% → 94.7%
	原 子 力	467	-	467	-	・原子力利用率 -% → 8.3%
	新 工 ネ	6	5	1	21.5%	
	火 力	9,447	8,260	1,187	14.4%	
他 社 受 電		12,327	11,514	813	7.1%	・うち水力 1,029 → 962 ・うち新工ネ 3,551 → 3,896

※決算日において未確定であるインバランス電力量等は含めていない。

※自社の発電電力量は、従来、発電端電力量を記載してきたが、第1四半期より送電端電力量に変更している。

これに伴い、前第3四半期の値を送電端電力量に組み替えて記載している。

# 収支明細

(億円)

(差異理由：億円)

		2021年度 第3四半期	2020年度 第3四半期	前年差	伸び率
売上高	電 小売販売収入	2,671	3,017	▲ 346	▲ 11.5%
	気 卸販売収入	665	322	343	106.5%
	事 其他収入	231	1,076	▲ 845	▲ 78.5%
	業 小 計	3,569	4,417	▲ 848	▲ 19.2%
	其他事業	760	680	80	11.8%
合 計		4,330	5,097	▲ 767	▲ 15.1%
営業費用	人 件 費	328	399	▲ 71	▲ 17.8%
	燃 料 費	710	384	326	84.7%
	電 購入電力料	1,190	1,620	▲ 430	▲ 26.6%
	気 減価償却費	389	365	24	6.6%
	事 修繕費	384	390	▲ 6	▲ 1.7%
	業 原子力発電コスト費用	33	20	13	63.0%
	其他費用	757	1,132	▲ 375	▲ 33.1%
	小 計	3,794	4,314	▲ 520	▲ 12.1%
其他事業		681	604	77	12.9%
合 計		4,476	4,918	▲ 442	▲ 9.0%
営業損益		▲ 145	178	▲ 323	-
営業外損益		3	▲ 28	31	-
経常損益		▲ 142	150	▲ 292	-
特別損失		16	-	16	-
法人税ほか		▲ 44	52	▲ 96	-
親会社株主に帰属する 四半期純損益		▲ 114	98	▲ 212	-

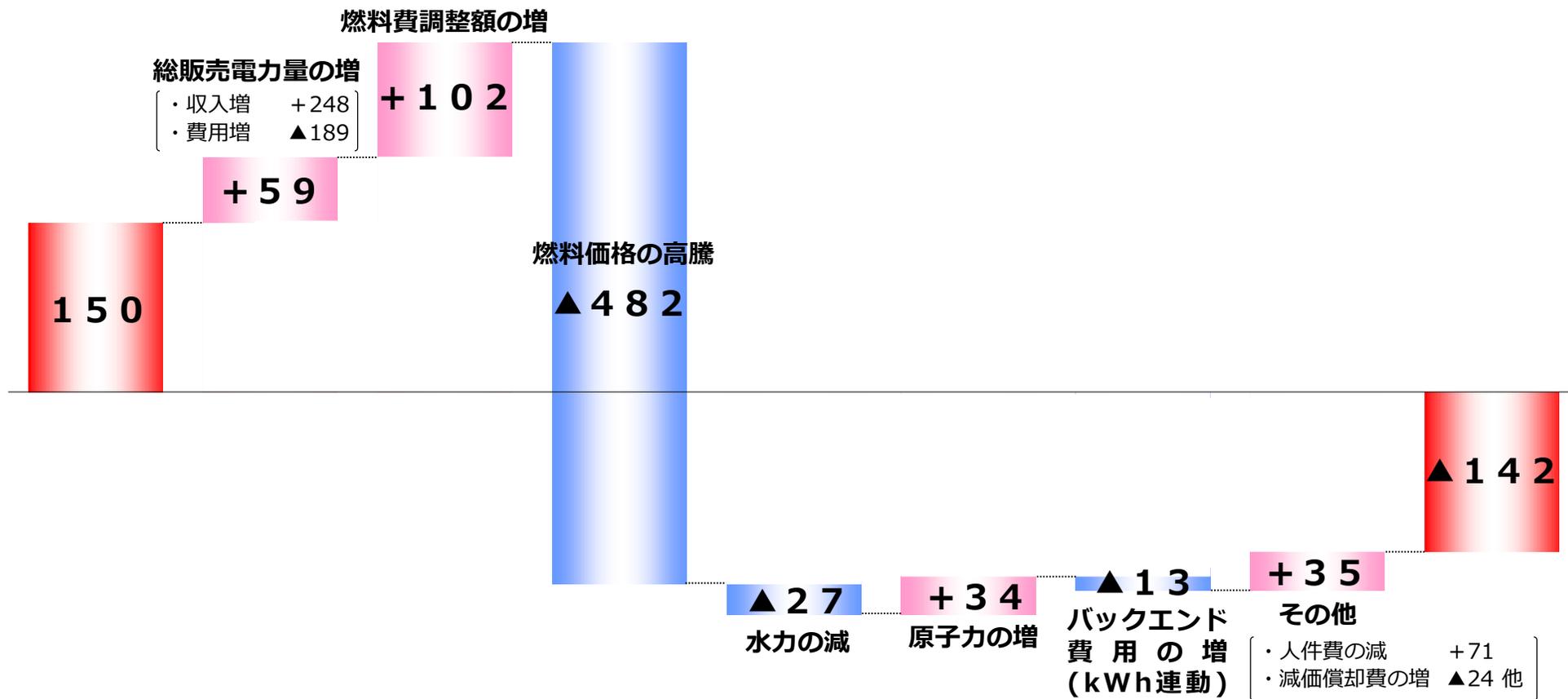
- ① 【小売販売収入】
- ・販売電力量の増 (+35)
  - ・燃料費調整額の増 (+102)
  - ・収益認識会計基準の適用に伴う賦課金の減 (▲413) 他
- ② 【その他収入】
- ・収益認識会計基準の適用に伴う交付金の減 (▲863) 他
- ③ 【人件費】
- ・退職給付に係る数理計算上の差異の償却影響 (▲60) 他
- ④ 【需給関連費（燃料費+購入電力料）】 ▲104
- ・総販売電力量の増 (+189)
  - ・原子力の増 (▲34)
  - ・水力の減 (+27)
  - ・燃料価格の高騰 (+482)
  - ・収益認識会計基準の適用に伴う購入電力料からの交付金控除額 (▲755) 他
- |              |            | 2021年度<br>第3四半期 | 2020年度<br>第3四半期 | 前年差 |
|--------------|------------|-----------------|-----------------|-----|
| 全日本<br>C I F | 石炭 (\$/t)  | 144             | 76              | 68  |
|              | 原油 (\$/b)  | 74              | 39              | 35  |
|              | LNG (\$/t) | 562             | 368             | 194 |
| 為替レート (円/\$) |            | 111             | 106             | 5   |
- ⑤ 【減価償却費】
- ・伊方P S安全対策工事による増 (+27) 他
- ⑥ 【その他費用】
- ・収益認識会計基準の適用に伴う納付金の減 (▲413)
  - ・ソフトウェア取得・改造による増 (+11) 他
- ⑦ 【営業外損益】
- ・持分法投資利益の増 (+10) 他
- ⑧ 【特別損失】
- ・昨年1月の市場価格高騰事象に起因するインバランス収支還元損失 (+16)

# 【経常損益 前年との差異内訳】

(単位：億円)

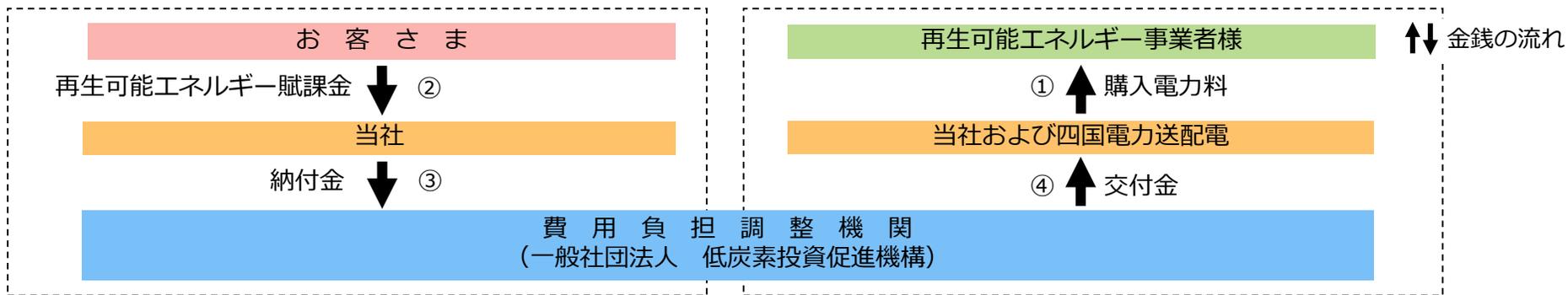
2020年度  
第3四半期

2021年度  
第3四半期



# 【参考】再エネ固定価格買取制度の仕組みと会計整理変更

○ 2021年度より収益認識に関する会計基準が適用されるため、再エネ固定価格買取制度に係る賦課金は売上計上せず、交付金は購入電力料から控除することから、売上高は当該会計基準を適用しない場合に比べて1,220億円減少しますが、費用も同額減少しますので、収支への影響はございません。



単位：億円

② 再生可能エネルギー賦課金	465	① 購入電力料	1,102
当社が、お客さまから電気料金の一部として回収		当社および四国電力送配電は、再生可能エネルギー事業者様に購入電力料をお支払い	
③ 納付金	465	④ 交付金	755
費用負担調整機関は、当社から納付金を徴収		費用負担調整機関は、当社および四国電力送配電が買取に要した費用（電気価値分を控除）を交付	

※ 数値は2021年度第3四半期実績値を用いている

	変更前	変更後
売上高	②賦課金 465 ④交付金 755	—
費用	①購入電力料 1,102 ③納付金 465	①購入電力料 1,102 ④交付金 ▲755 ③納付金 465 ②賦課金 ▲465

売上高の減：1,220億円

費用の減：1,220億円

収支影響なし

(億円)

			2021年度 第3四半期	2020年度 第3四半期	前年差	主な差異理由 (内部取引消去前)	
連 結		売上高	4,330	5,097	▲ 767	-	
		経常損益	▲ 142	150	▲ 292		
セグメント (内部取引消去前)	電気事業	発電・販売	売上高	3,415	4,195	▲ 780	- 収益認識会計基準の適用に伴う再工ネ賦課金・交付金の減(▲1,133) 他 - 燃料費調整額の増(+102)、燃料価格の高騰(▲463) 他
			経常損益	▲ 310	0	▲ 310	
		送配電	売上高	1,498	1,419	79	- 需給調整に伴う収益の増(+82) 他
		経常利益	51	55	▲ 4	- 三次調整力②取引の増(▲28)、燃料価格の高騰(▲19)、人件費の減(+29) 他	
	情報通信事業		売上高	323	325	▲ 2	- FTTH事業の増(+9) 他
			経常利益	62	52	10	
	エネルギー事業		売上高	172	149	23	- 石炭販売事業の増(+22) 他
		経常利益	14	28	▲ 14	- LNG販売事業の減(▲16) 他	
建設・エンジニアリング事業		売上高	494	333	161	請負工事の受注増 他	
		経常利益	21	4	17		
その他事業		売上高	252	344	▲ 92	- 商業業における収益認識会計基準の適用に伴う減(▲97) 他	
		経常利益	19	5	14		

## ＜参考＞設備投資額

(億円)

	2021年度 第3四半期
電気事業（発電・販売）	475
（うち伊方発電所にかかる安全対策工事）	(258)
（うち西条1号機リブレース）	(123)
電気事業（送配電）	201
情報通信事業	38
エネルギー事業、建設・エンジニアリング事業、その他事業	22
合 計（未実現利益消去前）	738

(億円)

	2021年度 第3四半期末	2020年度末	増 減	主な増減理由
資 産	15,006	14,304	702	
( 事 業 用 資 産 )	(8,807)	(8,575)	( 232)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設備投資 +717</li> <li>・ 減価償却 ▲457 他</li> </ul>
( 投 資 等 )	(5,006)	(4,537)	( 469)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新居浜LNG(株)、海外事業等への出資・融資 +190</li> <li>・ 燃料貯蔵品の増 + 79</li> <li>・ 現預金の増 + 73 他</li> </ul>
負 債	11,908	11,024	884	
( 社 債 ・ 借 入 金 )	(8,752)	(7,716)	( 1,036)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社債の増 +200</li> <li>・ 長期借入金の増 +257</li> <li>・ コマーシャル・ペーパーの増 +580</li> </ul>
( 未 払 費 用 等 )	(3,155)	(3,307)	(▲ 152)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 未払税金の減 ▲ 70 他</li> </ul>
純 資 産	3,098	3,279	▲ 181	
( 利 益 剰 余 金 )	(1,614)	(1,793)	(▲ 179)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 親会社株主に帰属する純損失 ▲114</li> <li>・ 配当金支払い ▲ 62 他</li> </ul>

自己資本比率	20.5%	22.8%	▲ 2.3%
--------	-------	-------	--------

## Ⅱ. 2021年度 連結業績予想および配当予想

### 連結業績予想

(億円)

	2021年度予想 (今回公表)	<参考> 2021年10月公表
売上高	6,100	5,800
営業損益	▲ 65	65
経常損益	▲ 70	60
親会社株主に帰属する 当期純損益	▲ 60	45
1株当たり 当期純損益	▲ 29円	22円

### 1株当たり配当金

	2021年度	<参考> 2021年10月公表
中間配当	15円	15円
期末配当	15円(予想)	15円

### 電力販売予想

(億kWh)

		2021年度予想 (今回公表)	<参考> 2021年10月公表
小売販売	電灯	78.5	78.1
	電力	143.4	142.2
	計	221.9	220.3
卸販売		89.5	83.3
総販売電力量		311.4	303.6

### 前提諸元

	2021年度予想 (今回公表)	<参考> 2021年10月公表
原子力利用率 (%)	31.4	42.1
石炭CIF価格 (\$/t)	150	147
原油CIF価格 (\$/b)	75	70
為替レート (円/\$)	112	110

# 2021年度収支見通し（経常損益） 前回10月公表値との差異内訳

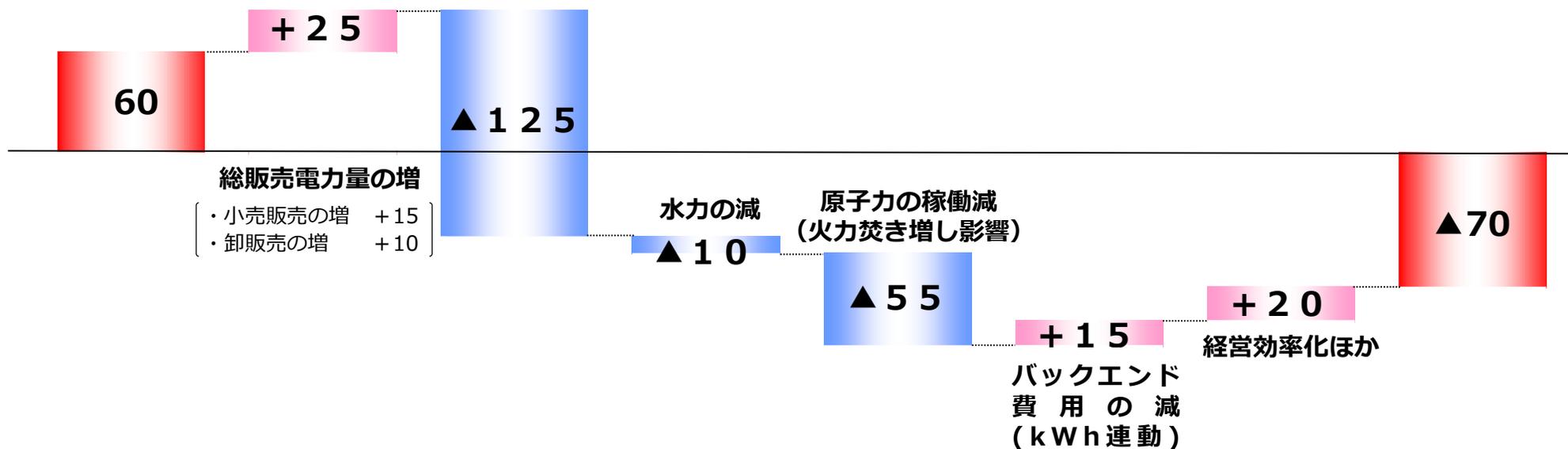
(単位：億円)

前回公表  
(10月公表)

今回公表

## 燃料価格高騰による影響

- ・燃料費調整額の期ずれ影響 ▲45
- ・卸電力取引市場価格の高騰影響など ▲80

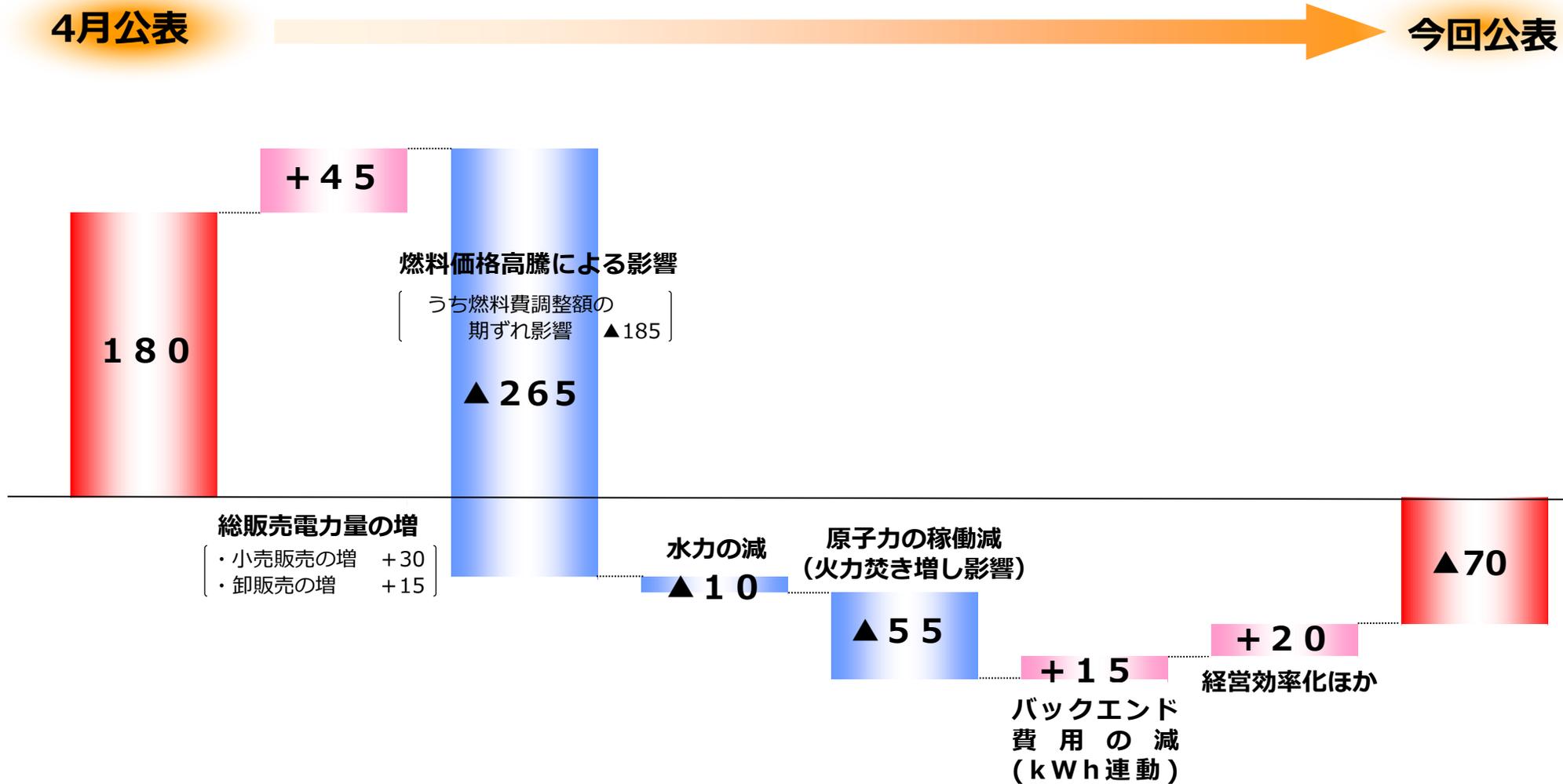


# 【参考】2021年度収支見通し（経常損益） 4月公表値との差異内訳 <sup>12</sup>

(単位：億円)

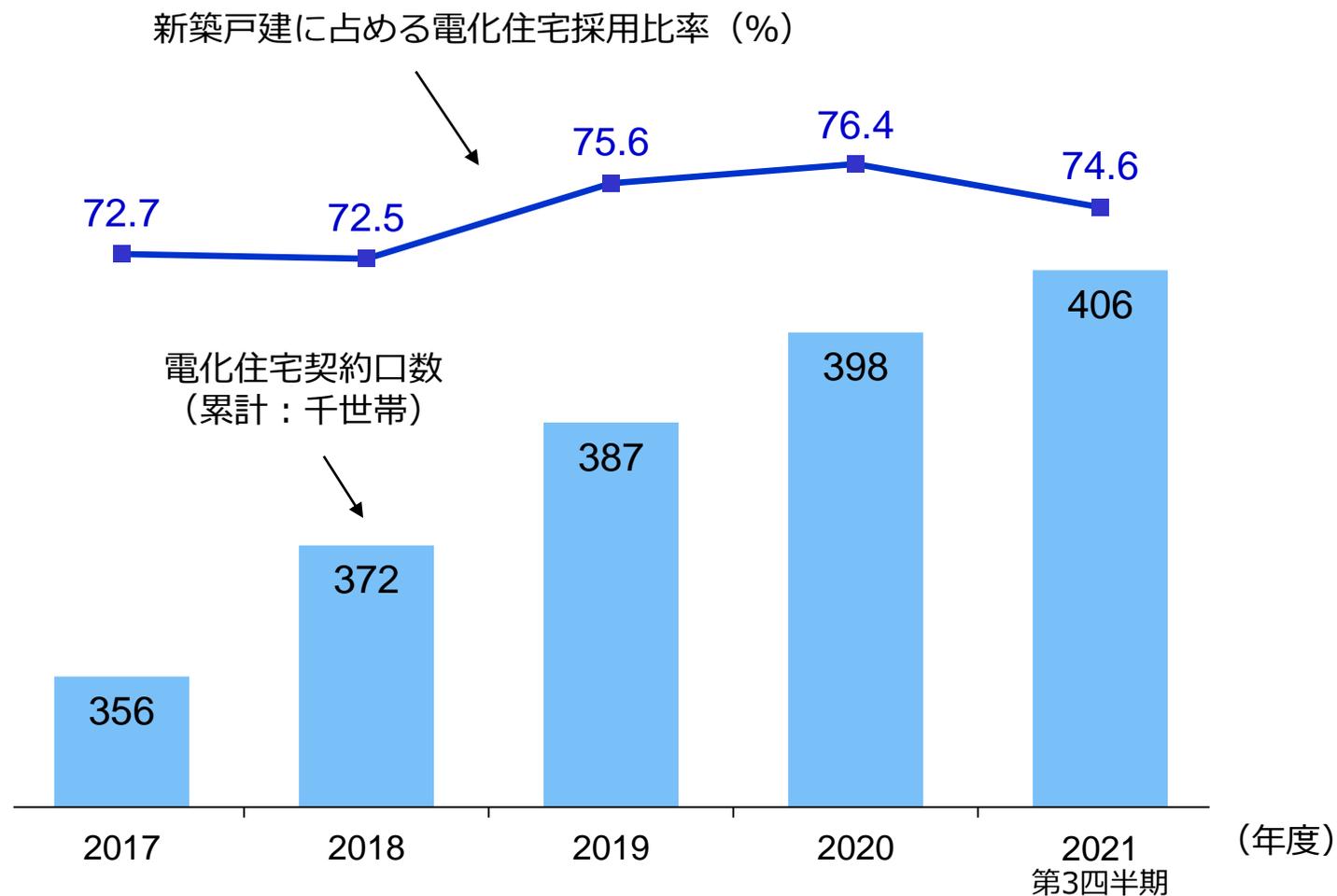
4月公表

今回公表



# 2021年度 第3四半期決算 補足データ

- 電化住宅契約口数の推移（累計）
- 化石燃料の消費実績
- 出水率、主要諸元の需給関連費への影響額
- 燃料費調整制度による期ずれ影響
- 設備投資額（連結）

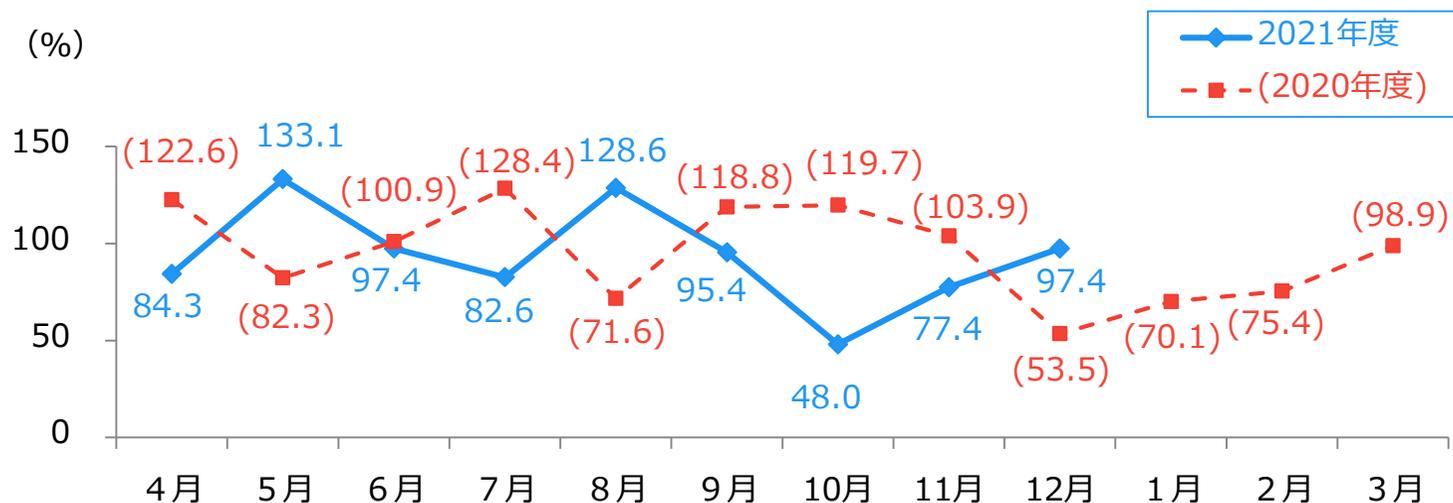


	2021年度 第3四半期	2020年度 第3四半期	前年差
石炭(万t)	232.3	194.5	37.8
重油(万kl)	25.2	6.2	19.0
原油(万kl)	-	1.5	▲ 1.5
LNG(万t)	27.2	30.2	▲ 3.0

## [燃料諸元]

	2021年度 第3四半期	2020年度 第3四半期	前年差
石炭通関CIF (\$/ t)	144	76	68
原油通関CIF (\$/ b)	74	39	35
LNG通関CIF (\$/ t)	562	368	194
為替レート (円/\$)	111	106	5

## 出水率の推移



## 主要諸元の需給関連費への影響額

(億円)

	2021年度 第3四半期
石炭CIF(1\$/t)	5
原油CIF(1\$/b)	2
為替レート(1円/\$)	9
原子力利用率(1%)	4
出水率(1%)	2

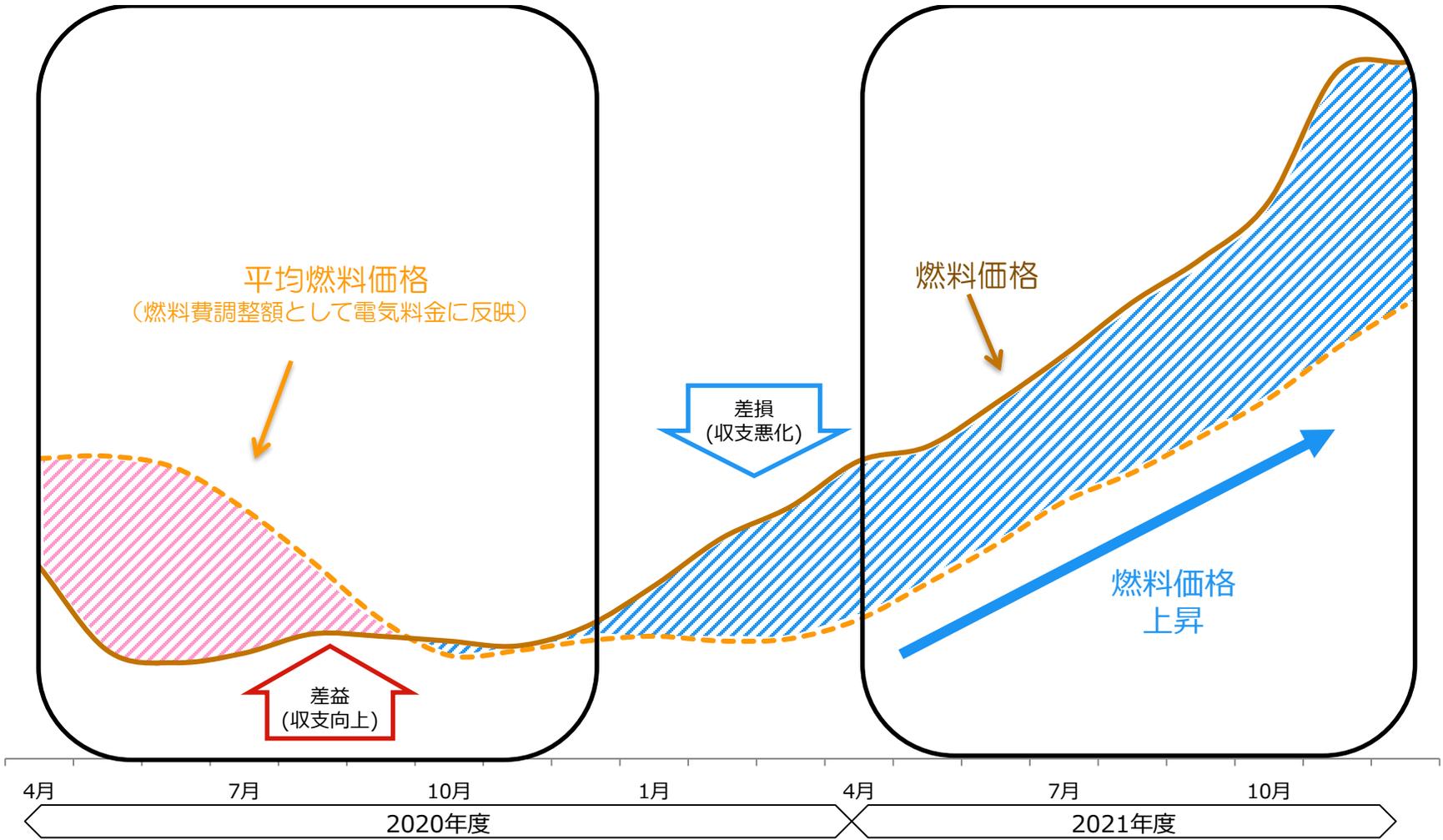
# 燃料費調整制度による期ずれ影響

2020年度  
第3四半期

期ずれ影響額※  
約 85億円

2021年度  
第3四半期

期ずれ影響額※  
約 ▲205億円



※ 燃調期ずれ影響額は、実際の燃料費調整額と燃料価格の適用に遅れが無いと仮定した場合の金額の差額

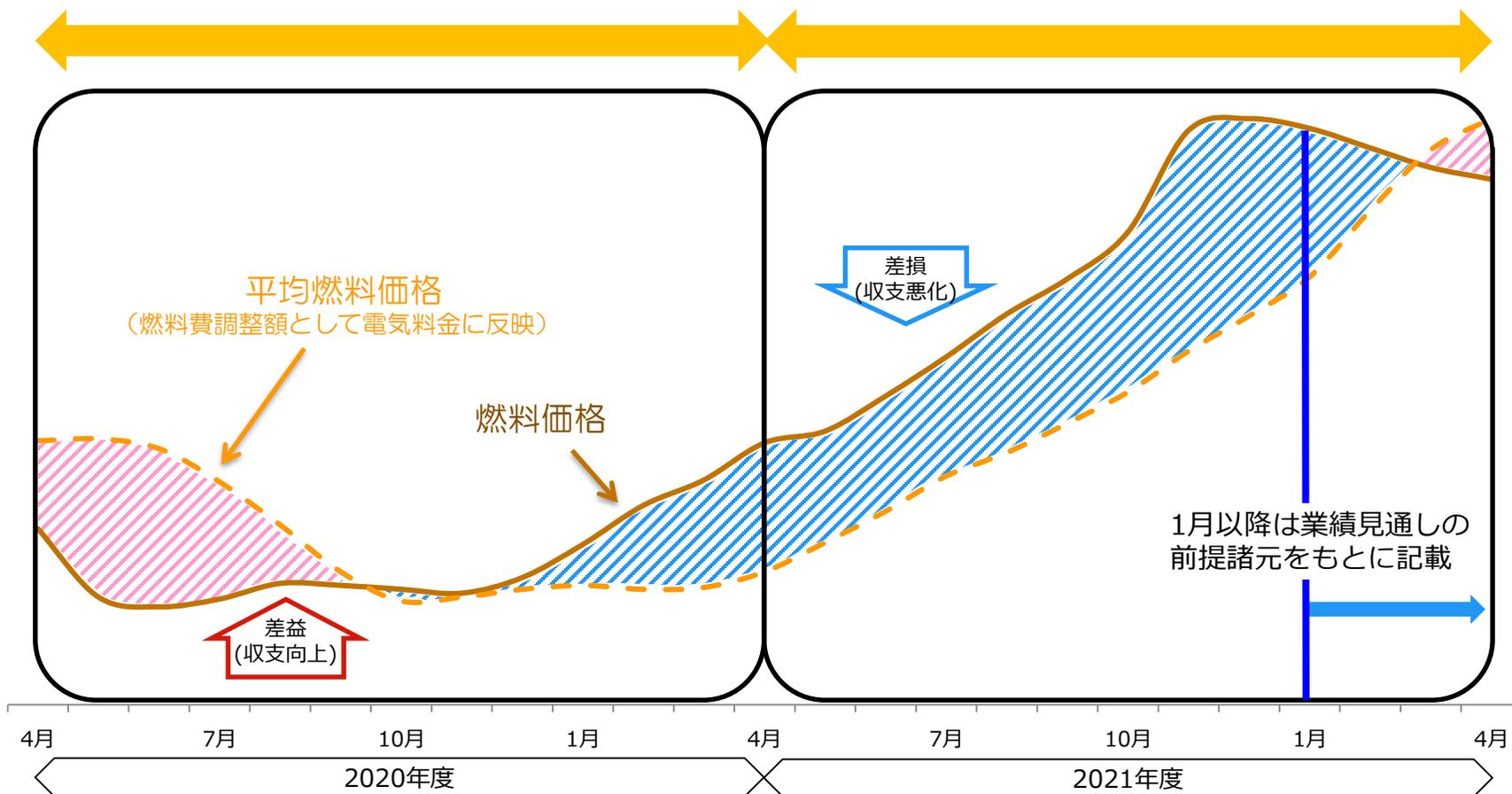
# 燃料費調整制度による期ずれ影響 (2021年度見通し)

2020年度

期ずれ影響額※実績  
約45億円

2021年度

期ずれ影響額※見通し  
今回公表：約▲235億円  
〔10月公表比：約▲45億円、4月公表比：約▲185億円〕  
※10月公表：約▲190億円、4月公表：約▲50億円



※ 燃調期ずれ影響額は、実際の燃料費調整額と燃料価格の適用に遅れが無いと仮定した場合の金額の差額

(億円)

	2021年度 第3四半期	(参考) 2020年度
発電・販売事業	475	556
うち 再エネ	16	28
うち 火力	138	202
うち 原子力	307	248
うち 原子燃料	7	71
送配電事業	201	216
うち 送電	50	54
うち 変電	72	62
うち 配電	63	79
電気事業計	677	772
その他の事業	61	98
設備投資額 <sup>※</sup>	738	871

※未実現利益消去前

# 【伊方発電所の安全対策費の見通し】

(単位：億円)

		総額 (見通し)	2011～2021年度3Q 実績	
				(再掲) 2021年度3Q
設備対応	短期対策	約 720	717	—
	中長期対策	約 1,140	1,163	261
解析・評価など		約 240	240	0
合 計		約 2,100	2,120	261

## おことわり

本プレゼンテーションに含まれている業績見通し、将来の予測に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

実際の業績等につきましては、様々な要因により、記載されている見通し等とは異なる場合がありますことをご承知おきください。

なお、実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済・社会情勢、エネルギー政策や電気事業制度、原子力規制の変更、競争の進展、気温変動等の気象状況、急速な為替や燃料価格の変動などがあります。



四国電力株式会社

しあわせのチカラになりたい。